

新たな表現を求めて

伝統を未来につなぐスパークリング日本酒

山梨銘醸 醸造責任者

シミックホールディングス CEO

北原亮庫氏 × 中村和男氏

七賢スパークリング日本酒の新たな表現。名水に恵まれる北杜市の酒蔵・山梨銘醸は1日、4作目となるスパークリング日本酒「EXPRESSION (表現) 2018」を発売する。同社の北原亮庫醸造責任者は、日本酒を水ではなく日本酒で仕込む「貴醸酒」の製法を活用。フィールドは違っても、同じ「表現者」としての想いに共感し、ラベルには1980年代の米国を代表するポップアーティスト、キース・ヘリング(1958~90年)の作品をデザ

インした。ラベル制作については、中村キース・ヘリング美術館(北杜市)を運営する、医薬品開発支援大手シミックホールディングス(東京)の中村和男CEO(甲府市出身)も協力。普段から親交がある北原醸造責任者と中村CEOが、北杜・山梨銘醸で「EXPRESSION 2018」について語った。聞き手は、YBSラジオ「はみだし、しゃべくりラジオ『キックス』」のパーソナリティー梶原しげる氏が務めた。

ラベルにキース・ヘリング 世界への発信を期待しています

地元で親しまれる芸術家 情熱伝え作品使用が実現

梶原しげる氏 キース・ヘリングの作品をラベルにしようと思ったのはなぜですか。

山梨銘醸醸造責任者・北原亮庫氏 私の中で酒造りとは、この地域でどのような酒を造るかということなんです。水もコメもそうですが、パッケージでも表現したい。そこで、北杜市に美術館があるキース・ヘリングと結び付きました。美術館には何度か伺いましたが、とても刺激的な場所です。

梶原氏 世界的なアーティストであるキース・ヘリングの作品をラベル、化粧箱にデザインするには、中村さんの協力があったんですね。

シミックホールディングス CEO・中村和男氏 とても難しい話でして、キース・ヘリング財団は、酒には作品を提供しないという方針でした。不可能かと思っていたのですが、北原さんがよく頑張りましたね。情熱が伝わり、使用を許可していただきました。

北原氏 中村さんをはじめ、本場にいろいろな方々に助けをいただきました。

中村氏 これまでキース・ヘリングの作品が酒でラベルに使われたのは例外的なものだけです。これはすごいことです。酒に加え、ラベルもとても価値あるものになったと感じます。

独自技術の瓶内二次発酵 特徴は貴醸酒製法の活用

梶原氏 「EXPRESSION

大吟醸古酒に手を加え さらなる価値を生み出しました

2018ですが、製造方法の特徴を教えてください。

北原氏 私の祖父の時代から、毎年最高峰の酒を瓶に詰め、状態を保存してありまして、今回は15年前の大吟醸古酒を使っています。杜氏がかつて魂を入れて作った日本酒を、私がもう一度手を加えることで、さらなる価値を生み出したと思つたことがきっかけです。製法はともユニークで、貴醸酒の製法を使っています。

中村氏 全く聞いたことがないですね。

北原氏 1972年に開発された、歴史のある製法です。かつて日本では国賓を招く際にはフランス産のワインを提供していました。しかし、日本の酒でもてなすべきだとの意見があり、付加価値の高い日本酒を造ろうということになりました。そこで開発されたのが貴醸酒です。特徴は、通常は水で仕込むところを酒で仕込みます。

梶原氏 15年前の大吟醸古酒で仕込んでいるんですね。

北原氏 そうです。それをさらに瓶内二次発酵させてスパークリング日本酒にしました。国内でも初めての取り組みです。

中村氏 瓶内二次発酵と簡単に言いますが、それはとても難しいのではないですか。どうなるのか分からないわけですか。

北原氏 瓶に詰めてしまえば何もできないですからね。

中村氏 それをよくコントロールできますね。これは私が携わっている化学の世界でも、とてもない話ですよ。

梶原氏 失敗はなかったの

すか。

北原氏 日本酒の瓶内二次発酵はまだ歴史が浅く、シャンパン製法を参考にしながら答えを見つけてきました。今回は入念にさまざまなケースを想定し、結果としては思い通りに仕上がりました。スパークリングに關しましてはこれまでの「山ノ霞」「星ノ輝」「杜ノ奏」の3作の経験が大きいですね。

中村氏 これは北原さんの集大成の一つですね。ほとんどアートなんだと感じます。杜氏アーティストと呼んだ方がいいかもしれませんね。

複雑で奥行きある味わい 新たなジャンルを世界に

北原氏 では、ぜひ飲んでみてください。

中村氏 シャンパンのようにすつと入ってくるわけではない、複雑な味わいですね。

北原氏 複雑で奥行きがあります。これまでの3作にはない味わいです。口の中で余韻も残ります。

梶原氏 のどに通ずるのもつたない気がしますね。

北原氏 15年前の杜氏からすれば、このような作品は当然できません。今の時代だからこそ、スパークリングという新しい手法を取り入れて、造ることができま。今の時代で酒が造られてよかったです。

中村氏 食事のペアリングとしては、どのようなイメージをしていますか。

北原氏 味が複雑なので、食中に味わっていた方がいいと思います。乾杯であれば星ノ

プロフィール

なかむら・かずお氏 甲府市出身。医薬品開発支援大手シミックホールディングスのCEOを務める。私財でキース・ヘリングの作品を集め、2007年に中村キース・ヘリング美術館を北杜市にオープンした。71歳。

きたはら・りょうご氏 北杜市出身。2006年に山梨銘醸に入社。辻本店(岡山)や国税庁醸造試験所での研修を経て、14年に山梨銘醸の醸造責任者に就任した。34歳。



YBS ラジオ
パーソナリティー
梶原 しげる 氏

対談の生の声はYBSラジオで

梶原しげる氏がパーソナリティーを務める毎週月曜日のYBSラジオ「はみだし、しゃべくりラジオ『キックス』」内のコーナー「やまなしをのもう」特別編として、今回の対談の様子を放送しています。1日に第3回、8日に最終回をいずれも午後4時から放送します。第1、2回も含め、放送後にはYBSラジオのホームページで対談の様子をお聞きいただけます。



「EXPRESSION 2018」を試飲



七賢の大吟醸古酒が保管される貯蔵庫